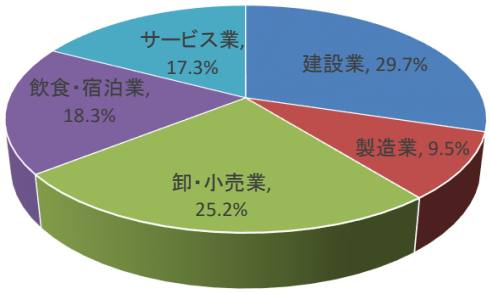
十日町市商工会地域 企業景況調査 第4四半期報告書（R2.1.1～R2.3.31）松之山地区

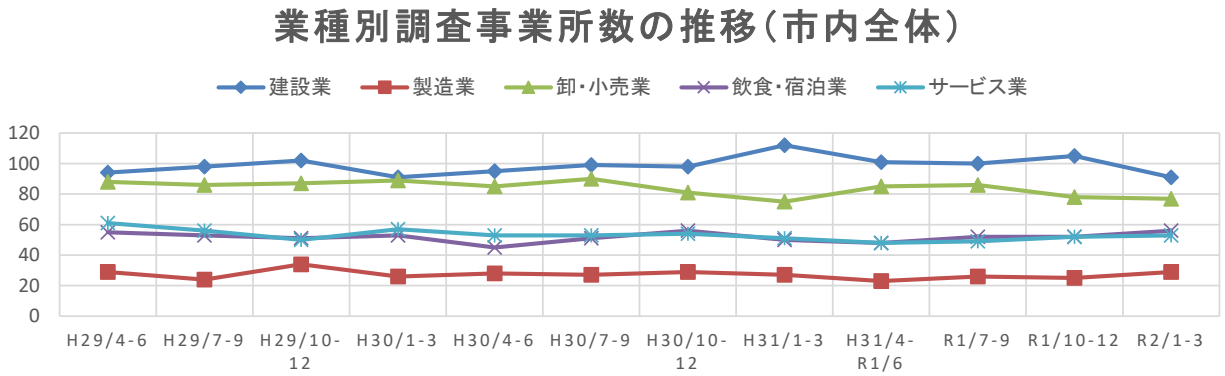
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

＜商工会地域市内全体＞



	事業者数	構成比
建設業	91	29.7%
製造業	29	9.5%
卸・小売業	77	25.2%
飲食・宿泊業	56	18.3%
サービス業	53	17.3%
全業種合計	306	100.0%

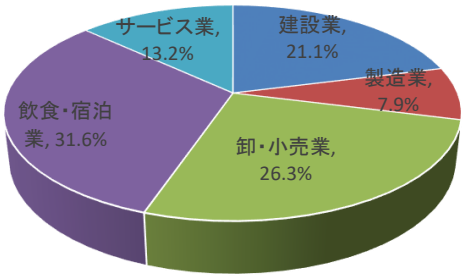


＜コメント＞

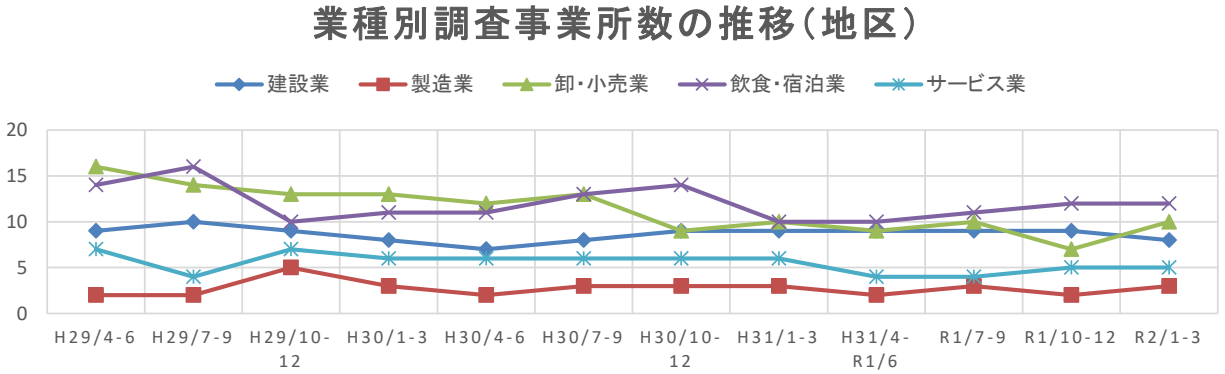
今回調査の回答事業所は、前回調査よりも6事業所減少しているが、十日町市内商工会地域全体（約1，000社）の約3割の事業所から回答を得ることができた。

建設業の回答割合が減少しているものの、業種構成割合は大きな変動は無かった。

＜地区別：松之山地区＞



	事業者数	構成比
建設業	8	21.1%
製造業	3	7.9%
卸・小売業	10	26.3%
飲食・宿泊業	12	31.6%
サービス業	5	13.2%
全業種合計	38	100.0%



＜コメント＞

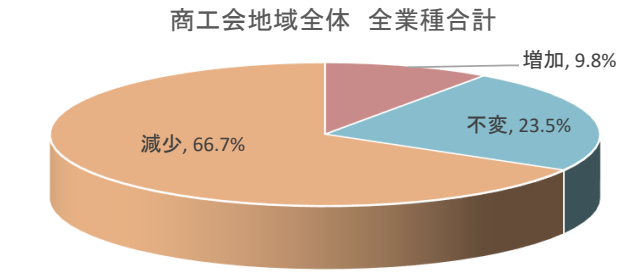
松之山地区の今回の調査回答状況は、配布64事業所の内38事業所からの回答があり、回収率は59.4%であった。前回減少した卸・小売業の回答も元に戻り、過去の調査同様の業種バランスとなっている。

ＤＩ値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－(減少・悪化などの回答割合)

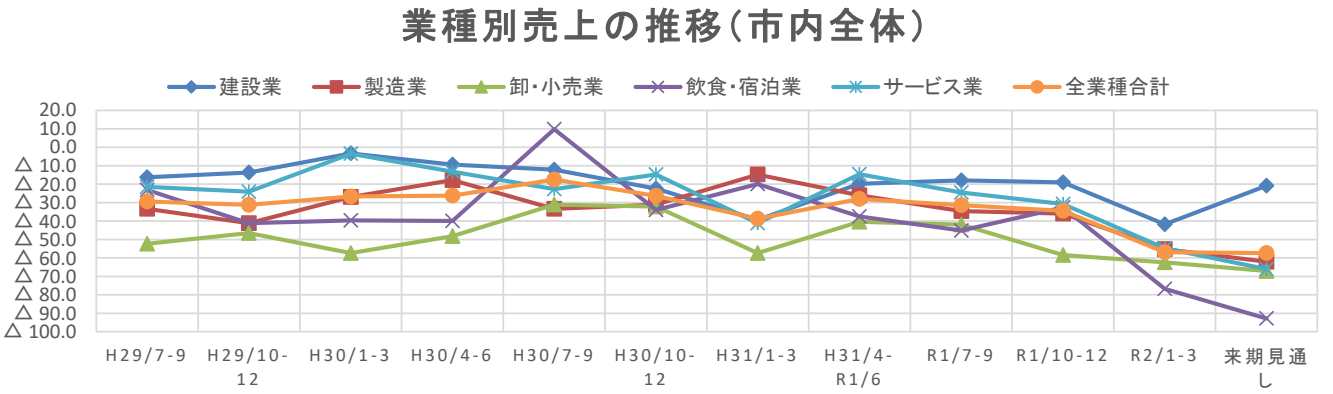
１．売上について

・１月～３月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

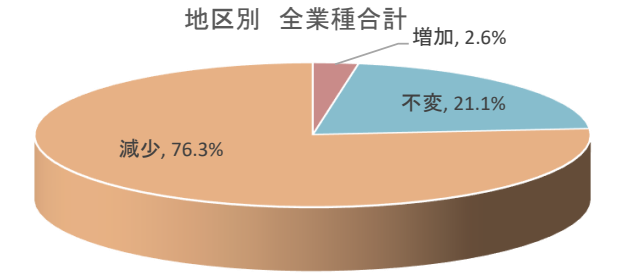


	増加 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	11.0%	36.3%	52.7%	△ 41.8	△ 20.9
製造業	6.9%	31.0%	62.1%	△ 55.2	△ 62.1
卸・小売業	7.8%	22.1%	70.1%	△ 62.3	△ 67.1
飲食・宿泊業	8.9%	5.4%	85.7%	△ 76.8	△ 92.9
サービス業	13.2%	18.9%	67.9%	△ 54.7	△ 66.0
全業種合計	9.8%	23.5%	66.7%	△ 56.9	△ 57.4

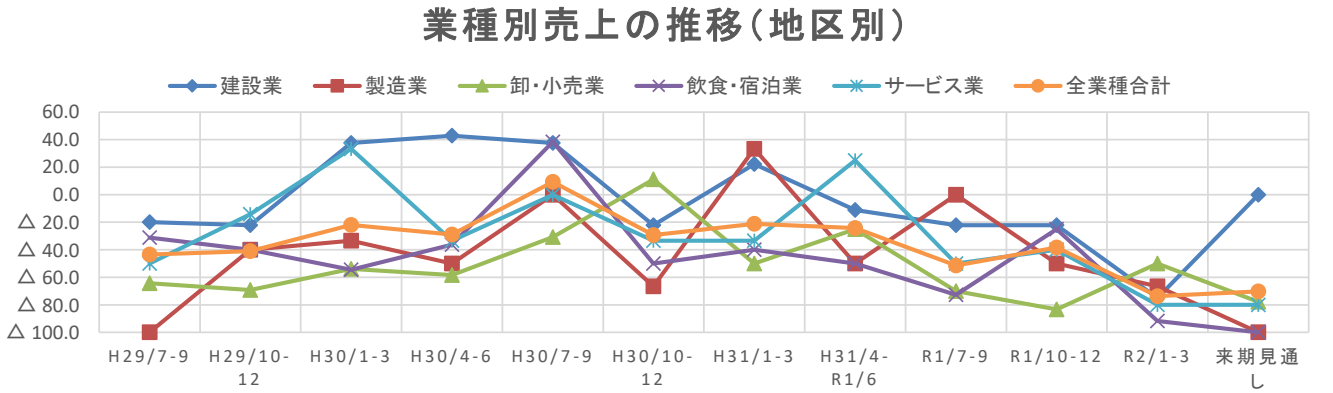


＜コメント＞　今期の市内全体の売上状況は、全業種DI値で△56.9ポイントで、前回調査時よりも22.5ポイント減少となっている。前回調査時の来期見通しどおりの結果となっており、小雪による除雪関係の売上減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく反映されている。来期見通しでは、建設業で増加予測があるものの、その他の業種は今期よりも減少するものと思われる。

＜地区別：松之山地区＞



	増加 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	25.0%	75.0%	△ 75.0	0.0
製造業	0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	△ 100.0
卸・小売業	10.0%	30.0%	60.0%	△ 50.0	△ 77.8
飲食・宿泊業	0.0%	8.3%	91.7%	△ 91.7	△ 100.0
サービス業	0.0%	20.0%	80.0%	△ 80.0	△ 80.0
全業種合計	2.6%	21.1%	76.3%	△ 73.7	△ 70.3

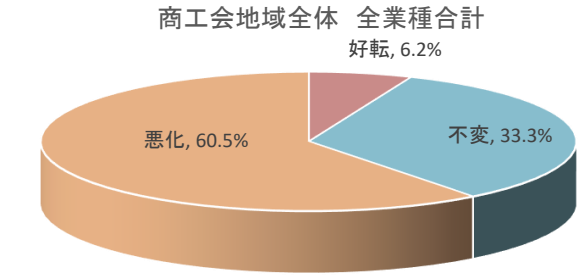


＜コメント＞　松之山地区の今期の売上状況は、全業種DI値で△73.7ポイントで、前回調査時よりも35.5ポイント減少となっている。卸小売業で増加が見られたものの、その他の業種で大きな減少があり、小雪による建設業の売上減少に加え、新型コロナウイルスの影響により多くの業種で減少となっている。来期見通しでは、建設業で増加予測があるものの、その他の業種は横這い、減少予測があり、改善は見られないものと思われる。

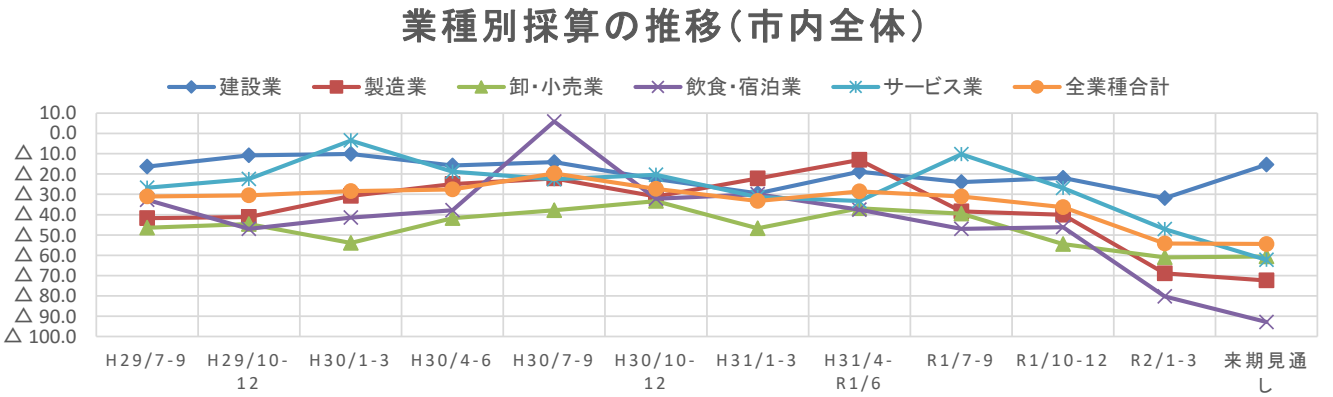
2．採算について

・１月～３月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

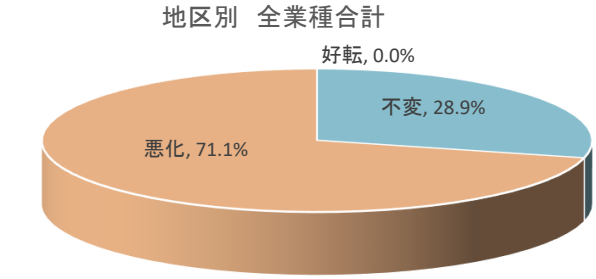


	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	9.9%	48.4%	41.8%	△ 31.9	△ 15.4
製造業	0.0%	31.0%	69.0%	△ 69.0	△ 72.4
卸・小売業	2.6%	33.8%	63.6%	△ 61.0	△ 60.5
飲食・宿泊業	5.4%	8.9%	85.7%	△ 80.4	△ 92.9
サービス業	9.4%	34.0%	56.6%	△ 47.2	△ 62.3
全業種合計	6.2%	33.3%	60.5%	△ 54.2	△ 54.4

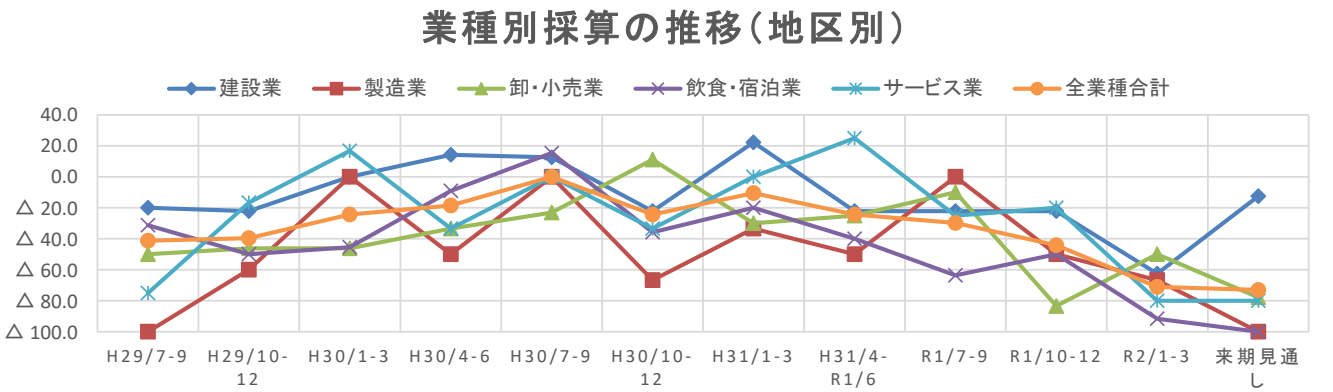


＜コメント＞　今期の市内全体の採算状況は、全業種DI値で△54.2ポイントで、前回調査時よりも17.9ポイント悪化となっている。推移グラフの波形から分かるとおり、売上状況と同様で全業種で悪化、来期見通しでは建設業以外は今期と同様、若しくは今期よりも悪化するものと予測されている。特に飲食・宿泊業の悪化は、新型コロナウイルスの終息が見えないうちは改善されそうもない。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	37.5%	62.5%	△ 62.5	△ 12.5
製造業	0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	△ 100.0
卸・小売業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 77.8
飲食・宿泊業	0.0%	8.3%	91.7%	△ 91.7	△ 100.0
サービス業	0.0%	20.0%	80.0%	△ 80.0	△ 80.0
全業種合計	0.0%	28.9%	71.1%	△ 71.1	△ 73.0

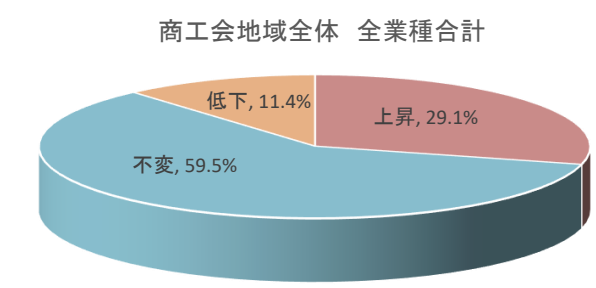


＜コメント＞　松之山地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△71.1ポイントで、前回調査時よりも27.0ポイント悪化となっている。売上と同様で卸・小売業は前回調査よりも好転しているように推移グラフ波形は出ているが、好転と回答した事業所は無く、すべての業種において採算状況は悪化していると言える。来期見通しも売上状況と同様となっている。

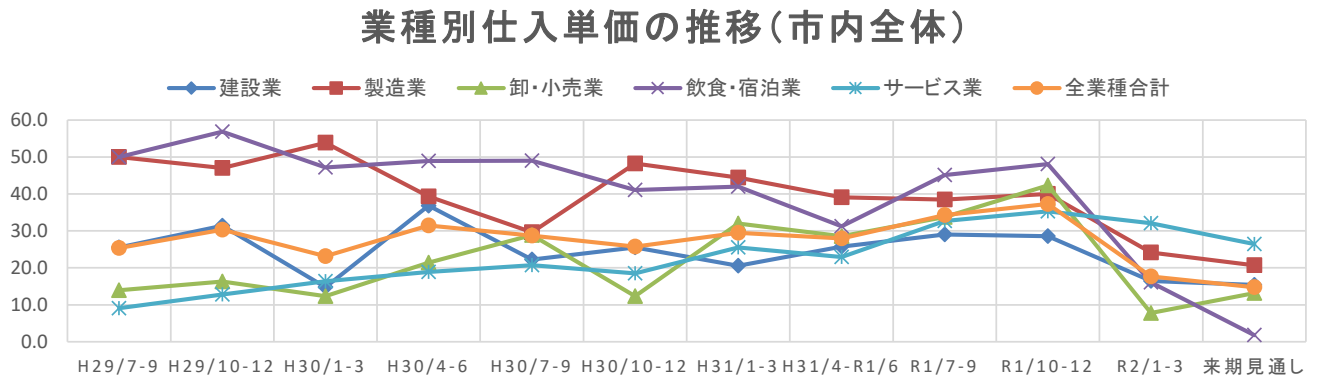
３．仕入単価について

・１月～３月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

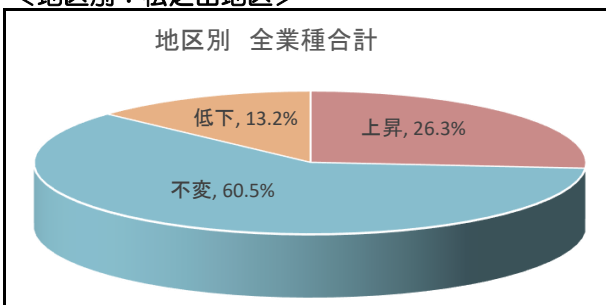


	上昇 %	不変 %	低下 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	25.3%	65.9%	8.8%	16.5	15.4
製造業	27.6%	69.0%	3.4%	24.1	20.7
卸・小売業	24.7%	58.4%	16.9%	7.8	13.2
飲食・宿泊業	35.7%	44.6%	19.6%	16.1	1.8
サービス業	35.8%	60.4%	3.8%	32.1	26.4
全業種合計	29.1%	59.5%	11.4%	17.6	14.8

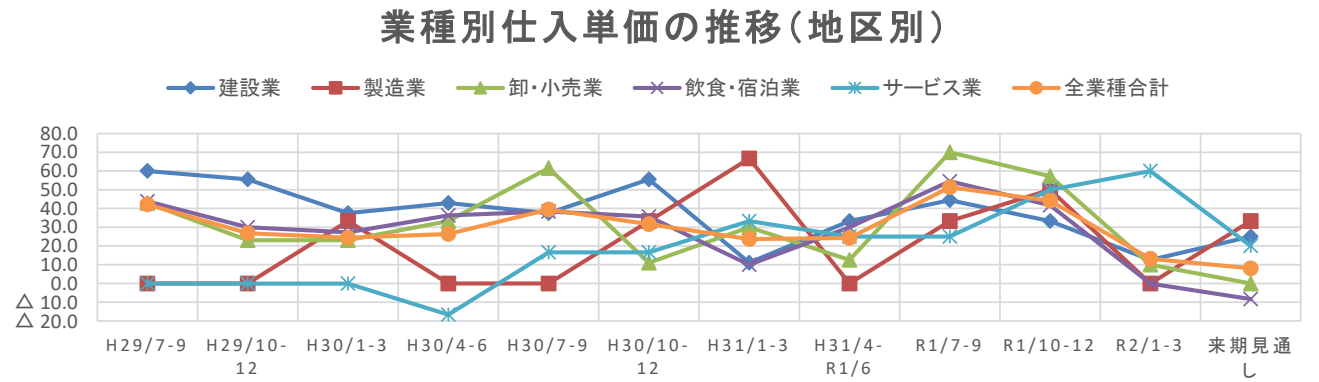


＜コメント＞　今期の市内全体の仕入単価状況は、全業種DI値で17.6ポイントとなっており、前回調査時よりも19.7ポイント低下となった。仕入単価においても新型コロナウイルスの影響が反映されており、すべての業種で売上が減少していることから、市場に物が余ってしまっていることによる仕入単価の減少と思われる。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	低下 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	12.5%	87.5%	0.0%	12.5	25.0
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	33.3
卸・小売業	20.0%	70.0%	10.0%	10.0	0.0
飲食・宿泊業	33.3%	33.3%	33.3%	0.0	△ 8.3
サービス業	60.0%	40.0%	0.0%	60.0	20.0
全業種合計	26.3%	60.5%	13.2%	13.2	8.1

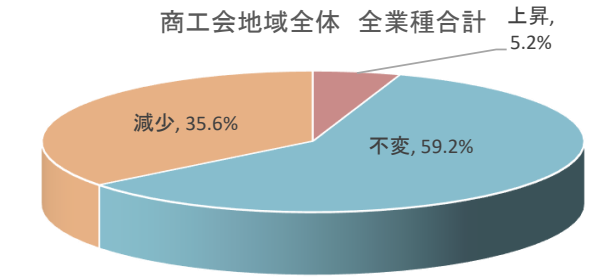


＜コメント＞　松之山地区の仕入単価の状況は、全業種DI値で13.2ポイントであり、前回調査時よりも30.9ポイント低下となった。サービス業で上昇が見られたものの、その他の業種では低下が示されており、市内全体状況に記載したとおりの状況が、松之山地区にも当てはまるものと思われる。来期見通しでは、建設業と製造業にて上昇予測されているが、その他の業種は減少予測されており、業種によって変動する模様である。

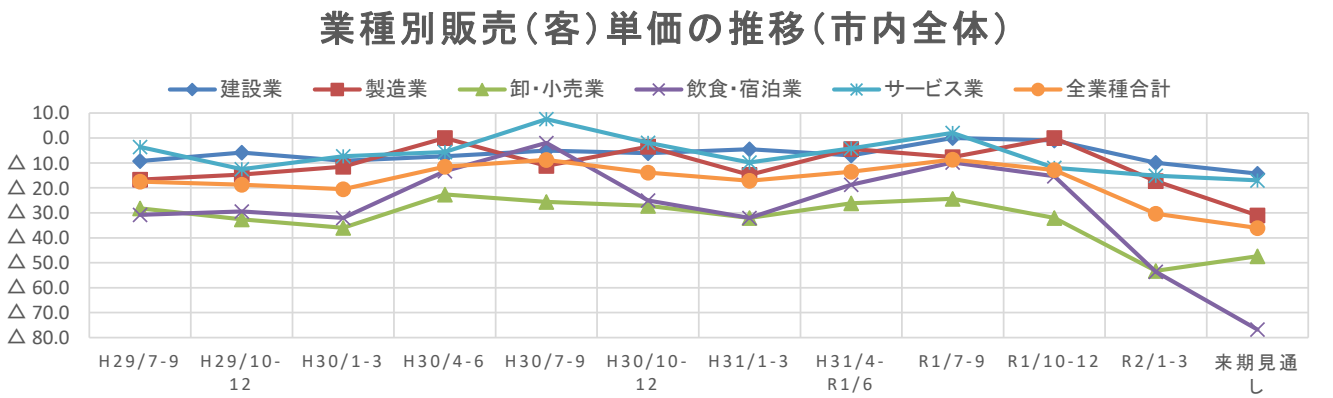
4．販売（客）単価について

・１月～３月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

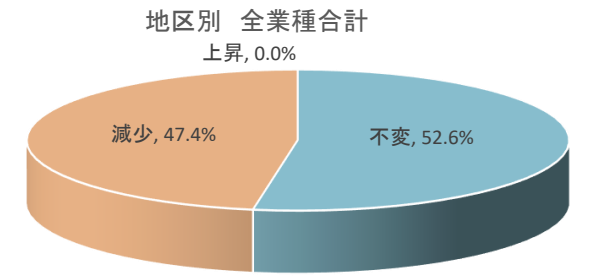


	上昇 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	5.5%	79.1%	15.4%	△ 9.9	△ 14.3
製造業	3.4%	75.9%	20.7%	△ 17.2	△ 31.0
卸・小売業	5.2%	36.4%	58.4%	△ 53.2	△ 47.4
飲食・宿泊業	0.0%	46.4%	53.6%	△ 53.6	△ 76.8
サービス業	11.3%	62.3%	26.4%	△ 15.1	△ 17.0
全業種合計	5.2%	59.2%	35.6%	△ 30.4	△ 36.1

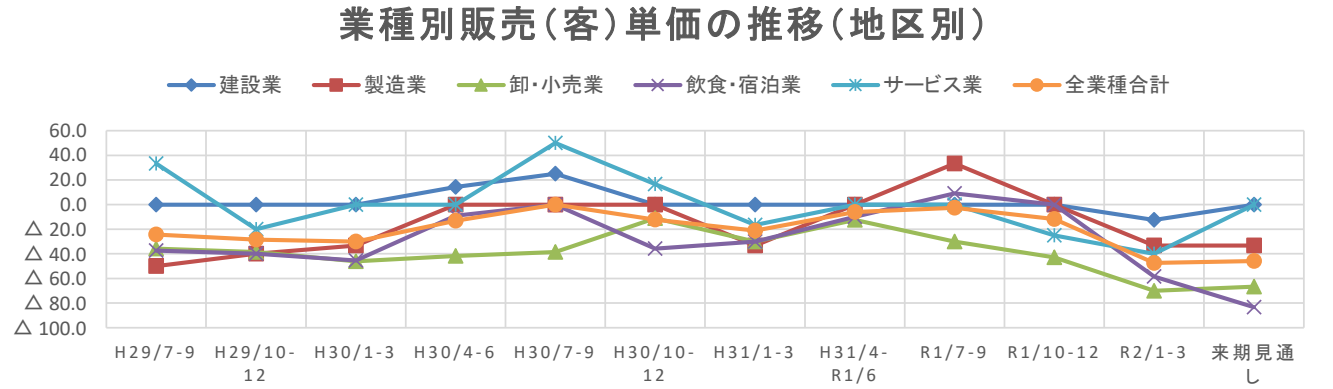


＜コメント＞　今期の市内全体の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△30.4ポイントで、前回調査時よりも17.5ポイント減少であった。全ての業種で減少となっているが、この調査項目も、新型コロナウイルスの影響により営業自粛や休業を余儀なくされている飲食・宿泊業に付随して卸・小売業の減少が著しい。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	87.5%	12.5%	△ 12.5	0.0
製造業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	△ 33.3
卸・小売業	0.0%	30.0%	70.0%	△ 70.0	△ 66.7
飲食・宿泊業	0.0%	41.7%	58.3%	△ 58.3	△ 83.3
サービス業	0.0%	60.0%	40.0%	△ 40.0	0.0
全業種合計	0.0%	52.6%	47.4%	△ 47.4	△ 45.9

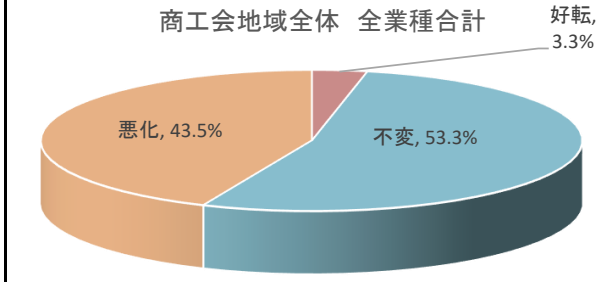


＜コメント＞　松之山地区の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△47.4ポイントで、前回調査時よりも35.6ポイント減少している。当地区の飲食・宿泊業の方々も、営業自粛や休業が多くあったことから大きなマイナス数値となっている。来期見通しにおいては、建設業とサービス業にて上昇予測されているものの、飲食・宿泊業で今期よりも減少予測されており、全体DIは横這いである。

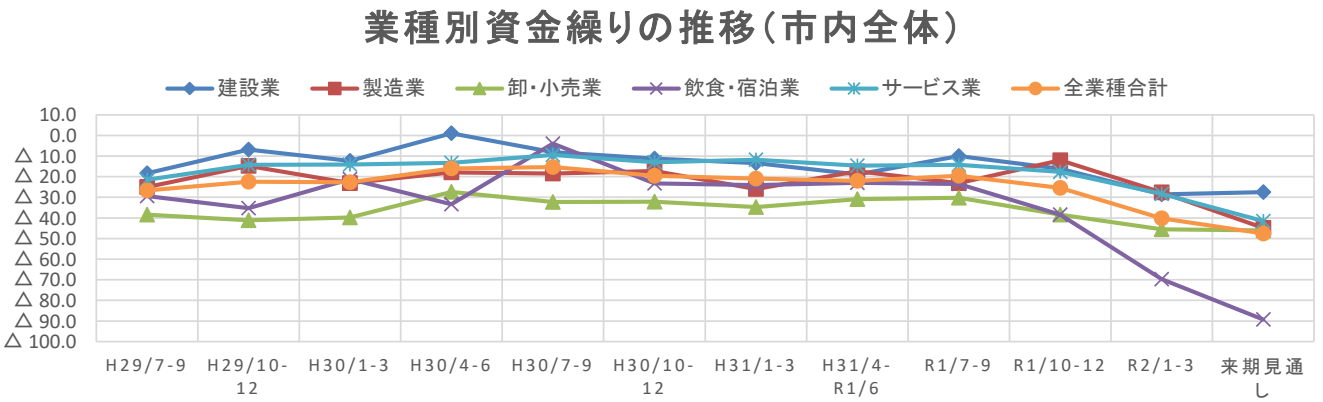
5．資金繰りについて

・１月～３月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

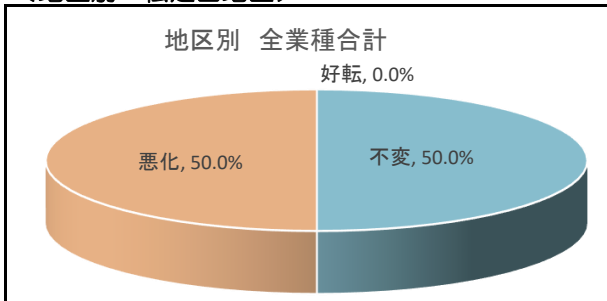


	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	2.2%	67.0%	30.8%	△ 28.6	△ 27.5
製造業	0.0%	72.4%	27.6%	△ 27.6	△ 44.8
卸・小売業	3.9%	46.8%	49.4%	△ 45.5	△ 46.1
飲食・宿泊業	3.6%	23.2%	73.2%	△ 69.6	△ 89.3
サービス業	5.7%	60.4%	34.0%	△ 28.3	△ 41.5
全業種合計	3.3%	53.3%	43.5%	△ 40.2	△ 47.5

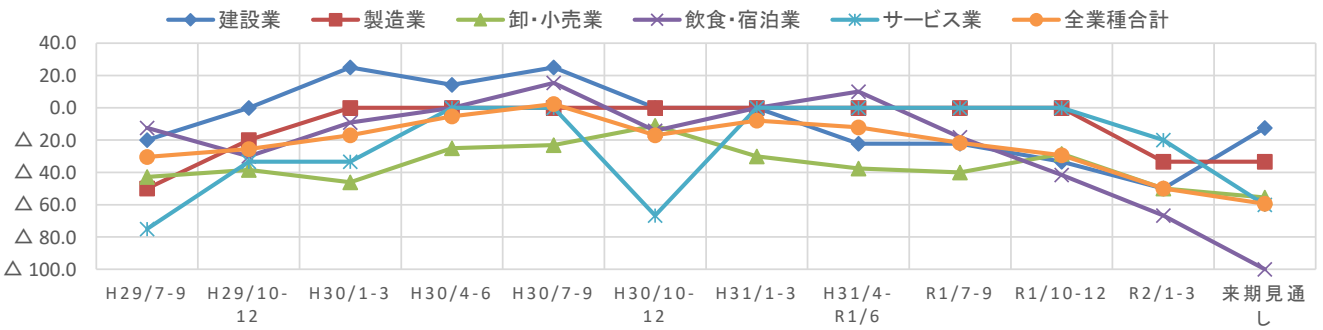


＜コメント＞　今期の市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△40.2ポイントとなっており、前回調査時よりも14.8ポイントの悪化となっている。平成28年度の調査開始からの過去データを見ても今期ほどの悪化数値は無く、来期見通しにて今期よりも悪化予測されていることから、早くコロナウイルスが終息されないと、資金余力のない事業所に手厚い支援が無いと、倒産や廃業も懸念されるところである。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 12.5
製造業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	△ 33.3
卸・小売業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 55.6
飲食・宿泊業	0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	△ 100.0
サービス業	0.0%	80.0%	20.0%	△ 20.0	△ 60.0
全業種合計	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 59.5

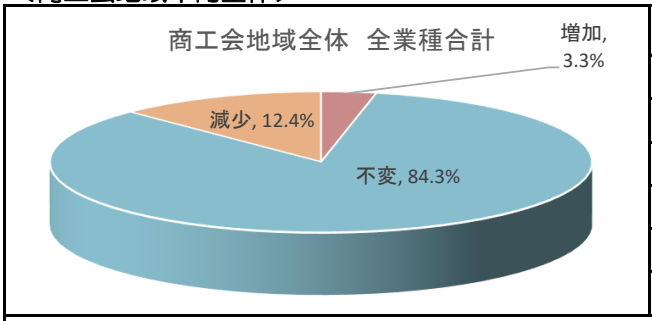


＜コメント＞　松之山地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△50.0ポイントで、前回調査時よりも20.6ポイント悪化している。全ての業種で悪化しており、平成28年の調査開始から見ても一番悪い数値となっている。来期見通しでは建設業にて好転予測があるものの、その他業種は悪化予測が多く、今期よりも悪化するものと思われる。

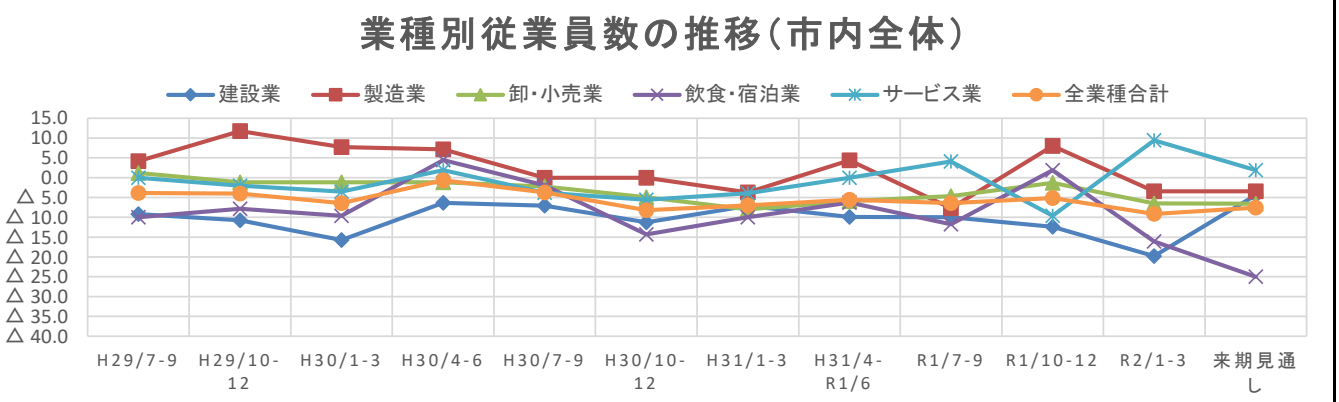
6．従業員数について

・１月～３月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

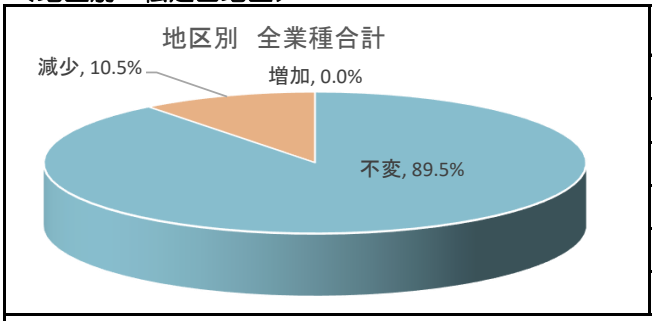


	増加 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	2.2%	75.8%	22.0%	△ 19.8	△ 4.4
製造業	0.0%	96.6%	3.4%	△ 3.4	△ 3.4
卸・小売業	0.0%	93.5%	6.5%	△ 6.5	△ 6.6
飲食・宿泊業	1.8%	80.4%	17.9%	△ 16.1	△ 25.0
サービス業	13.2%	83.0%	3.8%	9.4	1.9
全業種合計	3.3%	84.3%	12.4%	△ 9.2	△ 7.5

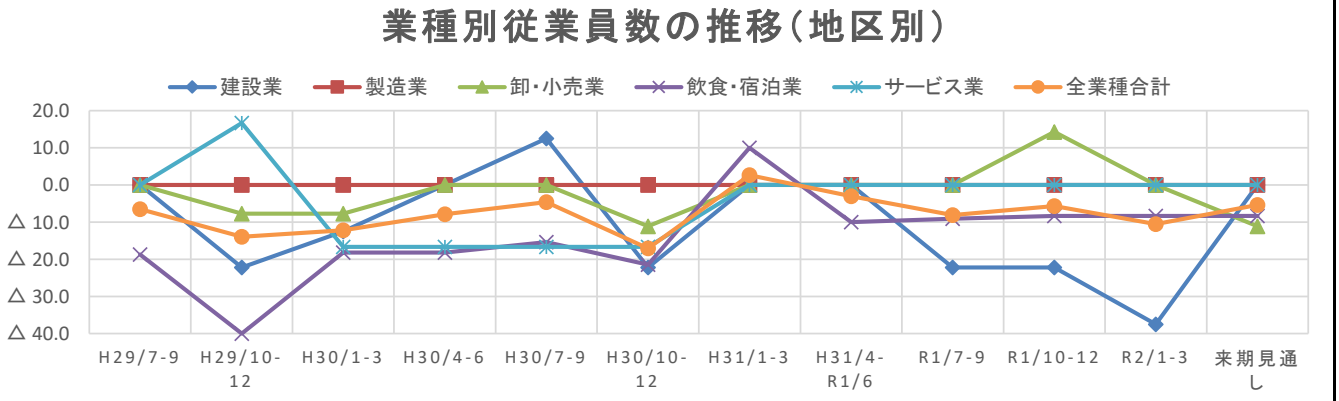


＜コメント＞　今期の市内全体の従業員数の状況は、全業種DI値で△9.2ポイントとなっており、前回調査時よりも4.1ポイント減少となった。業種別ではサービス業で増加となっているものの、その他の業種は減少している。来期見通しにおいては建設業で増加予測されているが、飲食・宿泊業とサービス業で減少を示しており、業種全体では今期よりも微増となっている。

＜地区別：松之山地区＞



	増加 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	62.5%	37.5%	△ 37.5	0.0
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0
卸・小売業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	△ 11.1
飲食・宿泊業	0.0%	91.7%	8.3%	△ 8.3	△ 8.3
サービス業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0
全業種合計	0.0%	89.5%	10.5%	△ 10.5	△ 5.4

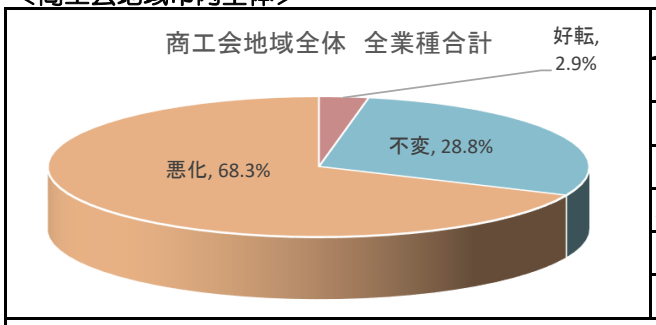


＜コメント＞　松之山地区の今期の従業員数の状況は、全業種DI値で△10.5ポイントで、前回調査時よりも4.8ポイント減少となった。前記調査項目から分かるとおり、多くの業種で売上減少や資金繰り悪化があるものの、従業員数に大きな減少が無いことは、雇用調整助成金等の支援策を活用して従業員の維持を図っているものと推測できる。

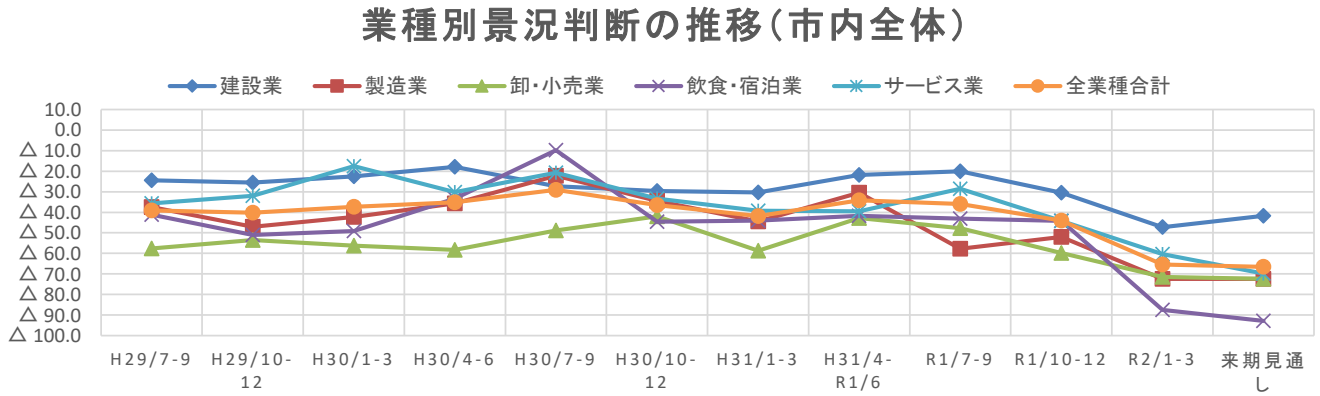
7．景況判断について

・１月～３月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

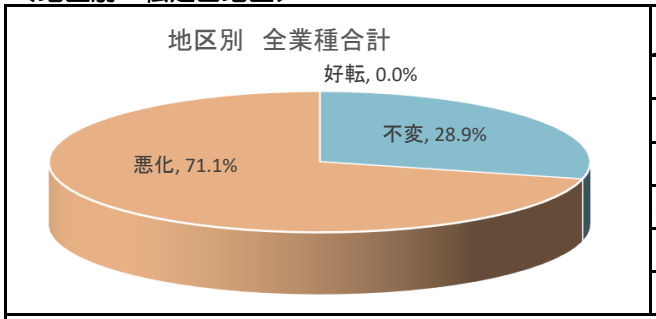


	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	3.3%	46.2%	50.5%	△ 47.3	△ 41.8
製造業	0.0%	27.6%	72.4%	△ 72.4	△ 72.4
卸・小売業	1.3%	26.0%	72.7%	△ 71.4	△ 72.4
飲食・宿泊業	1.8%	8.9%	89.3%	△ 87.5	△ 92.9
サービス業	7.5%	24.5%	67.9%	△ 60.4	△ 69.8
全業種合計	2.9%	28.8%	68.3%	△ 65.4	△ 66.6

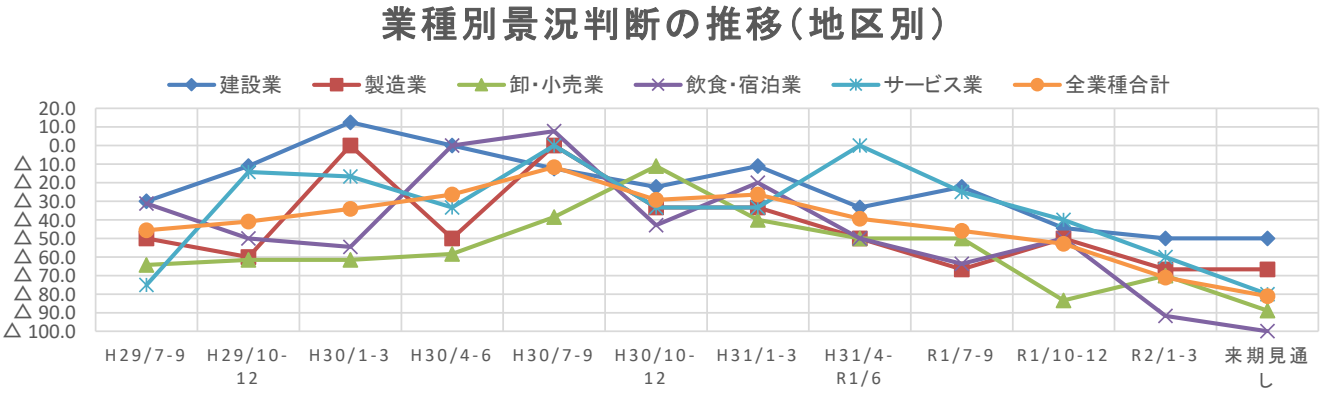


＜コメント＞　今期の市内全体の景況判断状況は、全業種DI値で△65.4ポイントとなっており、前回調査時よりも21.3ポイントと大きな悪化を示している。業種別でも全ての業種で悪化となっており、特に飲食・宿泊業の悪化割合が高くなっている。来期見通しにおいても今期と同レベルの数値が示されており、改善は見込めない状況である。

＜地区別：松之山地区＞



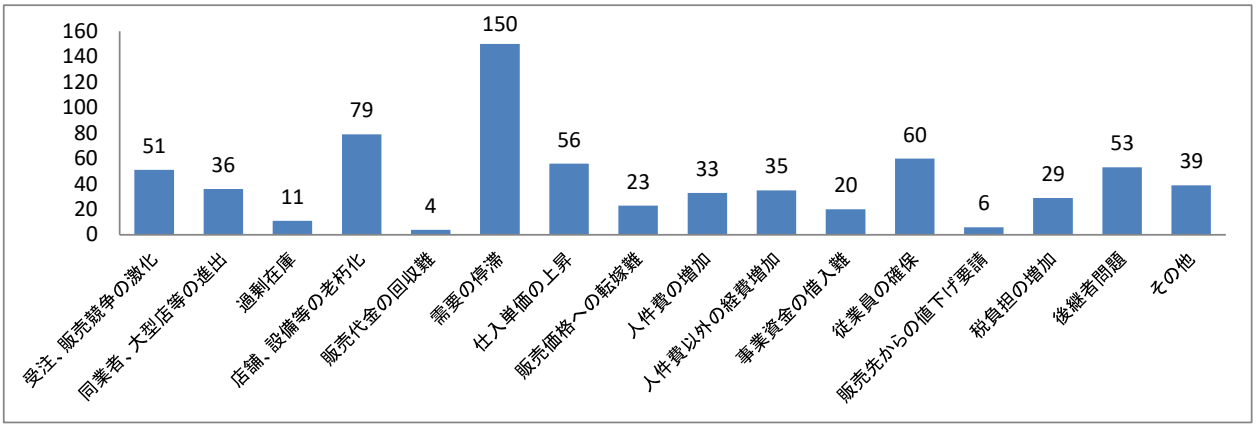
	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0
製造業	0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	△ 66.7
卸・小売業	0.0%	30.0%	70.0%	△ 70.0	△ 88.9
飲食・宿泊業	0.0%	8.3%	91.7%	△ 91.7	△ 100.0
サービス業	0.0%	40.0%	60.0%	△ 60.0	△ 80.0
全業種合計	0.0%	28.9%	71.1%	△ 71.1	△ 81.1



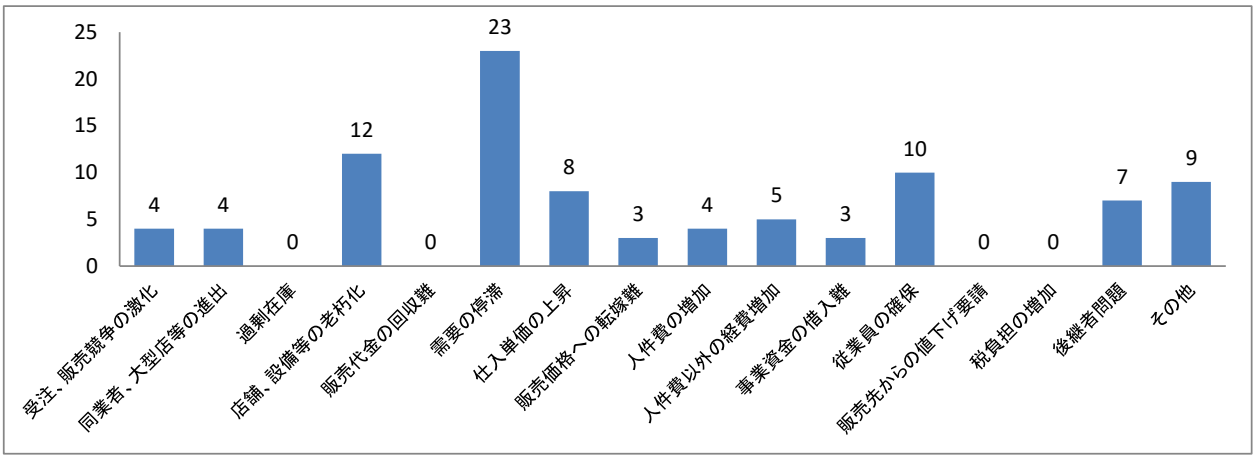
＜コメント＞　松之山地区の今期の景況判断状況は、全業種DI値で△71.1ポイントで、前回調査時よりも18.2ポイント悪化となっている。卸・小売業にて多少の好転が見られたが、その他業種は大きく悪化を示している。来期見通しにおいても、好転予測している業種は無く、現状よりも悪化するものと推測できる。

８．経営上の問題点（上位３つ）

商工会地域全体　全業種合計



地域別　全業種合計



＜コメント＞　今期調査での経営上の問題点は、１位は前回同様「需要の停滞」であったが、2位は「店舗、設備等の老朽化」となり、3位が「従業員の確保」であった。次いで多かったのは「仕入単価の上昇」であり、仕入単価は前回の2位から4位と減少したことがわかる。
松之山地区の経営上の問題点は、１位は前回同様「需要の停滞」であったが、2位と3位が入れ替わり、「店舗、設備の老朽化」「従業員の確保」の順となっている。

９．地区の景況概要

・１月～３月時点での全体概況は

【建設業】
今期の建設業の状況は、小雪による除雪作業が少なかったことが大きく影響しており、売上や採算のDI値で大きく減少（悪化）を示している。ただし、来期見通しにおいて、唯一売上増加予測をしている業種でもあり、今期よりも好転することに期待したい。
建設業における経営上の問題点は、今期も「従業員の確保」が1位となっており、「需要の停滞」「仕入単価の上昇」が同数で2位となっている。

【製造業】
今期の製造業の状況は、売上、採算のDI値で減少（悪化）が出ており、資金繰りDIも悪化となっている。来期見通しにおいても売上、採算DIは今期よりも減少（悪化）することが予測されており、更に仕入単価の上昇予測もあることから、来期の状況は今期よりも厳しくなると予測できる。
製造業の経営上の問題点では、「需要の停滞」と「人件費の増加」が多く上げられている。

【卸・小売業】
今期の卸・小売業の状況は、依然マイナス域にあるものの、売上、採算DI値は前期よりも増加（好転）しており、新型コロナウイルス拡大防止策の外出自粛により、一般家庭消費が伸びたことによるものと推測できる。仕入単価においても前回調査時より低下しており、経営状況は上向きつつあるように思われるが、来期見通しにおいて売上減少予測や資金繰り悪化予測などから改善はないと思われる。
経営上の問題点では、今期も「店舗設備等の老朽化」「需要の停滞」が多く上げられている。

【飲食・宿泊業】
今期の飲食・宿泊業の状況は、新型コロナウイルスの影響を一番受けている業種でもあり、過去に無いほどの悪化（減少）を示している。来期見通しにおいても、営業自粛や休業要請などの期間が含まれることから、売上、採算DIで△100.0%を示すなど明るい兆しは少しもない状況である。
経営上の問題点では、「需要の停滞」「店舗設備等の老朽化」「後継者問題」が多く上げられている。

【サービス業】
今期のサービス業の状況は、飲食・宿泊業に次いで売上、採算のDI値の減少（悪化）幅が大きく出ている業種であった。今期の資金繰り悪化もあるが、来期見通しの資金繰りが更に大きな悪化予測があり、今後も注視しなければならない業種でもある。
経営上の問題点は、「需要の停滞」「同業者、大型店等の進出」が多く上げられている。